

「中編成ワンマン運転の実施について」提案を受ける②

実施の目的

- ・秋田は全社的に見て1番人口減少が進んでいる。社会環境の変化に対応するため将来を見据えて実施する。
- ・車両導入計画もあり男鹿線で実施することを決めた。

主な議論内容

設備について

- ・今回導入するEV-E801系には全ての車両に車載ホームモニタシステムを搭載する。
※既に運用している車両も改造工事を実施する。
- ・車内に運賃箱は設置しない。※既存車両に設置されている運賃箱は取り外す。
- ・男鹿駅上1番線に充電設備を増設する。
- ・簡易券売機を増設する考えはない。
- ・運賃ほ脱対策として強固な運賃箱と駅防犯カメラを土崎駅・男鹿駅以外の駅に整備する。
- ・男鹿線内のホーム高上工事を実施し停止位置目標も移設する。
- ・ホームミラーを取り外すかは検討中。

教育訓練等について

- ・今年度ハンドル訓練はDC免許保有者を対象に実施する予定。
- ・補完教育をすればEC免許で運転できるが実施後に検討していく。
- ・新車なので駅社員に対しても連結解放訓練等の必要な訓練は実施する。
- ・通常時は乗務員による画面操作の必要はないが、画面が切り替わらない等が発生した場合に手動で操作する場合があるので教育が必要。
- ・応急処置等のマニュアルは基本的に現行と変わらない。

その他

- ・五能線に導入されるGV-E400系には車載モニタシステムは搭載しない。
- ・奥羽本線と男鹿線で取り扱いが違いため、奥羽本線の停車駅については取り扱いを統一することを検討する。
- ・男鹿線で短編成ワンマンと中編成ワンマンが混在することになる。
- ・2両1編成として連結することで4両ワンマン運転を実施する。
※現行男鹿線では5両運転があるが実施後は最大4両となる。
- ・中編成ワンマン列車の車両故障時は減車、短編成ワンマンは車交や運休が基本となる。
- ・充電時間は2両で20分、4両で40分必要になるので男鹿駅での折り返し時間は確保する。
- ・仙台支社と意見交換し車載モニタシステムの方が確認しやすいという声は聞いている。
- ・車側カメラにヒーター機能が付いているが降雪時の検証はハンドル訓練時に行っていく。
- ・ワンマン運転の取り扱いが変更になるので作業要領も改訂される。
- ・運賃ほ脱対策として駅に運賃表や掲示物でお客さまに周知し訴えかけていく。
- ・運賃ほ脱対策として管理駅や支社と協力し、定期券の切れる時期に特別改札を検討している。また必要により車内特改も検討していく。
- ・必要な情報は自治体へ連絡する。
- ・秋田運輸区や車両センターを中心に現場体制を構築し社員の意見を吸い上げていく。現場・支社・本社が一体となって課題解決できるものはやっていきたい。

職場現実を会社施策に反映させるため組合員との議論を展開しよう!